



# 学校だより

4月号

横浜市立大道小学校

令和2年4月6日

学校ホームページ：[横浜市立大道小学校](#)

検索

校長 加藤 和之

## やまない雨はない

校庭や体育館脇にある桜の満開は、3月の最後あたりでした。何とか入学式や始業式までもつように頑張って咲いてくれていたのですが、さすがに舞い散る花びらが多くなってきました。ぴかぴかの新1年生52名を迎え、新たな年度のスタートです。

明るい日差しの中、令和2年度を迎えることができました。今年度も、保護者・地域の皆様のご支援、ご協力をいただきながら、よりよい大道小を目指して学校づくりを進めていきたいと思っています。どうぞよろしくお願ひいたします。

さて今年度は、例年とは違うスタートとなりました。「新型コロナウイルス」の感染拡大防止のための「臨時休校」が3月3日から始まり、卒業式と修了式以外は学校から子どもたちの元気な声が消えました。4月に入り、久しぶりに子どもたちが学校に登校してくる姿を見て、思わず「お帰りなさい。」と声をかけたくくなりました。

「ハイ」「ハイ」と手を挙げる子どもたちの声	休み時間を知らせるチャイムの音
校庭に向かって階段を駆け下りる足音	「歩きなさい!」と注意する先生
音楽室から聴こえるピアノの音色	給食室から流れてくるカレーの匂い

「当たり前」だと思っていた、何気ない日常の一こま一こまが、どれだけ大切なものだったか、子どもたちがいない学校の何と寂しいものか……。改めて実感させられた1か月でした。こんな「当たり前」の日々が、早く戻ってくることを祈るばかりです。

しかしながら、このたび4月8日～20日まで、横浜市一斉に臨時休校の期間が延長されることが決まりました。「早く学校に行って友達と過ごしたい。」「新しい学年での勉強を頑張りたい。」と期待に胸を膨らませていた子どもたちのことや、仕事等のご都合がある中、3月からずっとお子さんの様子を気にかけて見守ってくださったご家族の皆様のご苦勞を考えると、何とも言えない気持ちになります。「感染者の爆発的増加」の瀬戸際という現状の中、「これ以上の感染拡大防止のため」「子どもたちの命を守るため」というねらいやその必要性、緊急性はもちろん理解しています。しかし、子どもの成長のために日々取り組んでいる私たち教職員にとっては、今回の決定は辛いものでした。

これからの臨時休校の期間中、私たちが大切にしたいのは「臨時休校が終わった後、子どもたちが、スムーズに学校生活を送れるよう準備すること」です。休校期間における学校の取組については、別紙にてお知らせいたします。ご家庭でのご協力を重ねてお願いすることになりますが、よろしくお願ひいたします。

やまない雨はありません。こんなことがあった後には、きっといいことが待っています。子どもたちが生き生きと学び、笑顔が輝く学校になるよう、今まで以上に頑張りたいと思っています。